

別紙

温室効果ガス排出削減計画

氏名	(法人にあっては名称) 株式会社両備システムズ		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒700-8508 岡山県岡山市北区下石井2-10-12 杜の街 グレースオフィススクエア4F	
本票作成	部署名：経営推進本部 総務・人財統括部 総務部				
主たる業種	分類コード	39	業種名：情報サービス業		
事業の概要	自治体・公共事業体・病院向けソフトウェア開発、アウトソーシングサービス事業、民需系サービス、データセンター、セキュリティ事業など総合的な情報サービスを提供				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	IDCセンター		非公開：別シートに理由説明	
	②	豊成オフィス		岡山県岡山市南区豊成2-7-16	
	③	藤崎オフィス		岡山県岡山市中区藤崎564-5	
	④	磨屋町オフィス		岡山県岡山市北区磨屋町10-12 交通オアシスビル5F	
	⑤	岡山本社		岡山県岡山市北区下石井2-10-12 杜の街グレースオフィススクエア4F	
⑥	IDC事務棟		非公開：別シートに理由説明		
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 9 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

計画期間	令和 5 年度		～	令和 9 年度 (5 箇年度)					
削減目標	いずれかを選択	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	目標削減率 8.5 %	目標区分	20%以上	20~15%	15~10%	10~5%	5%未満
		<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準						○	
温室効果ガス排出量	基準年度 (令和 4 年度)			目標年度 (令和 9 年度)					
	8,119 t CO ₂			13,849 t CO ₂					
基準年度の主な工場等の排出量	番号	工場等の名称		基準年度 (令和 4 年度) の排出量					
	①	IDCセンター		5,864 t CO ₂					
	②	豊成オフィス		1,064 t CO ₂					
	③	藤崎オフィス		842 t CO ₂					
	④	磨屋町オフィス		182 t CO ₂					
	⑤	岡山本社		74 t CO ₂					
⑥	IDC事務棟		59 t CO ₂						

※ 「計画期間」欄には、5箇年度以内で特定事業者が定める期間を記入する。

(原単位基準の削減目標を選択した場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容	原単位当たり排出量	
	IDCの電気使用は全体の72.2%を占め、事業拡大に伴い使用電力は増加していくため、PUE値の改善を目標とする。	基準年度	目標年度
		1.53 t CO ₂ / (PUE)	1.40 t CO ₂ / (PUE)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値 (令和 4 年度)	達成率(%)
指標の状況	データセンター業	1.400 以下	1.53	91.5%

【目標削減率設定の基本的な考え方】

IDCの電気使用は全体の72.2%を占め、事業拡大に伴い使用電力は増加していくため、PUE値の改善を目標とする。基準年度のPUE値はベンチマーク指数に定める値に達していないため、その値を目標値とする。

【目標削減率達成のための推進体制】

- ・省エネ法に基づくエネルギー管理統括者を中心としたエネルギー管理体制を整備
- ・ISO14001(2007年取得)に基づき、IMS管理責任者をトップとした環境管理体制のもと、環境改善を推進

【排出量削減のためのこれまでの主な取組】

工場等の名称	取組内容
IDCセンター	既設スペースはA I 空調制御システムの効果について、空調機の動作状況、使用電力の改善状況の定期的な監視を継続し、拡張スペースは空調機稼働を使用電力に合わせて段階的に稼働させ、A I 空調制御システムの学習も個別に行った。
オフィス	2011年より社内節電ガイドラインに従い以下の取り組みを実施 <ul style="list-style-type: none"> ・クールビズ、ウォームビズ（適切なエアコン温度の設定） ・長時間離席時のPC電源OFF ・休憩時間、時間外勤務、休日出勤時の部分照明、空調 ・ノー残業デーの徹底 等

【計画期間中に目標削減率を達成するために実施する措置】

工場等の名称	措置内容
IDCセンター	設置スペースを順次拡張し現在は3 / 4分の稼働を開始した。残り1 / 4について拡張次期の計画は未定だが、稼働中のエリアについては、空調機、A I 制御システムの最適化を繰り返し行う事と、使用電力に応じた電気設備の稼働管理を予定している。既設スペースは定期的な監視しつつ、稼働設備数の最適化や必要に応じてアイルキャッピング等の施工も検討を行う。
オフィス	節電ガイドラインの徹底 熱交換タイプの換気扇へ切替 等

【森林保全等吸収源対策への取組計画】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入計画】

県内での取組	有	オフィスの建て替えを検討中で新建屋には太陽光発電を計画しています。
その他	無	

【その他特記事項】

--